

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 4 区分
【発行日】平成24年7月19日(2012.7.19)

【公開番号】特開2009-296875(P2009-296875A)
【公開日】平成21年12月17日(2009.12.17)
【年通号数】公開・登録公報2009-050
【出願番号】特願2009-135610(P2009-135610)
【国際特許分類】

H 0 2 K 5/10 (2006.01)

H 0 2 K 9/08 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 5/10 Z

H 0 2 K 9/08 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月30日(2012.5.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シール装置（50）であって、該シール装置（50）の片側に配置された水素雰囲気（30）を、該シール装置（50）の反対側に配置されたキャビティ（24）から分離するように構成された非接触シール（54）を含む前記シール装置（50）を有する水素冷却発電機（10）を修正する方法であって、

アルミニウム本体（96）から突出し、その先端（104）が前記水素冷却発電機（10）のロータ（12）に係合する複数の非金属剛毛（94）からなる接触シール（56）を前記シール装置（50）に連結するステップを含む、前記水素冷却発電機（10）を修正する方法。

【請求項 2】

シール装置（50）であって、該シール装置（50）の片側に配置された水素雰囲気（30）を、該シール装置（50）の反対側に配置されたキャビティ（24）から分離するように構成された非接触シール（54）を含む前記シール装置（50）を有する水素冷却発電機（10）を修正する方法であって、

前記非接触シール（54）の少なくとも一部分を取り除くステップと、

アルミニウム本体（96）と前記アルミニウム本体（96）から突出する複数の非金属剛毛（94）とからなる置換シール装置を形成するステップと、

前記アルミニウム本体（96）を前記非接触シール（54）に連結することによって、前記キャビティ（24）から前記水素雰囲気（30）への1つまたは複数の混入物の流れすなわち拡散を防止するために、前記剛毛（94）の先端（104）がロータ（12）と接触するように前記非接触シール（54）の前記取り除いた部分を置換するステップとを含む、前記水素冷却発電機（10）を修正する方法。

【請求項 3】

初期シール装置（50）であって、該初期シール装置（50）の片側に配置された水素雰囲気（30）を、該初期シール装置（50）の反対側に配置されたキャビティ（24）から分離するように構成されたラビリンス歯シールを含む前記初期シール装置（50）を有する水素冷却発電機（10）を修正する方法であって、

前記水素冷却発電機（１０）から前記初期シール装置（５０）を取り除くステップと、
アルミニウム本体（９６）と前記アルミニウム本体（９６）から突出する複数の非金属
剛毛（９４）とからなる置換シール装置（５６）を形成するステップと、

前記キャビティ（２４）から前記水素雰囲気（３０）への１つまたは複数の混入物の流れ
すなわち拡散を防止するために、前記剛毛（９４）の先端（１０４）が前記水素冷却
発電機（１０）のロータ（１２）と接触するように前記置換シール装置（５６）を前記水素
冷却発電機（１０）に挿入するステップとを含む、前記水素冷却発電機（１０）を修正す
る方法。